

塩竈市震災復興計画策定に関する
企業・事業所意向調査
報告書（業種別集計）

平成 23 年 9 月

塩竈市

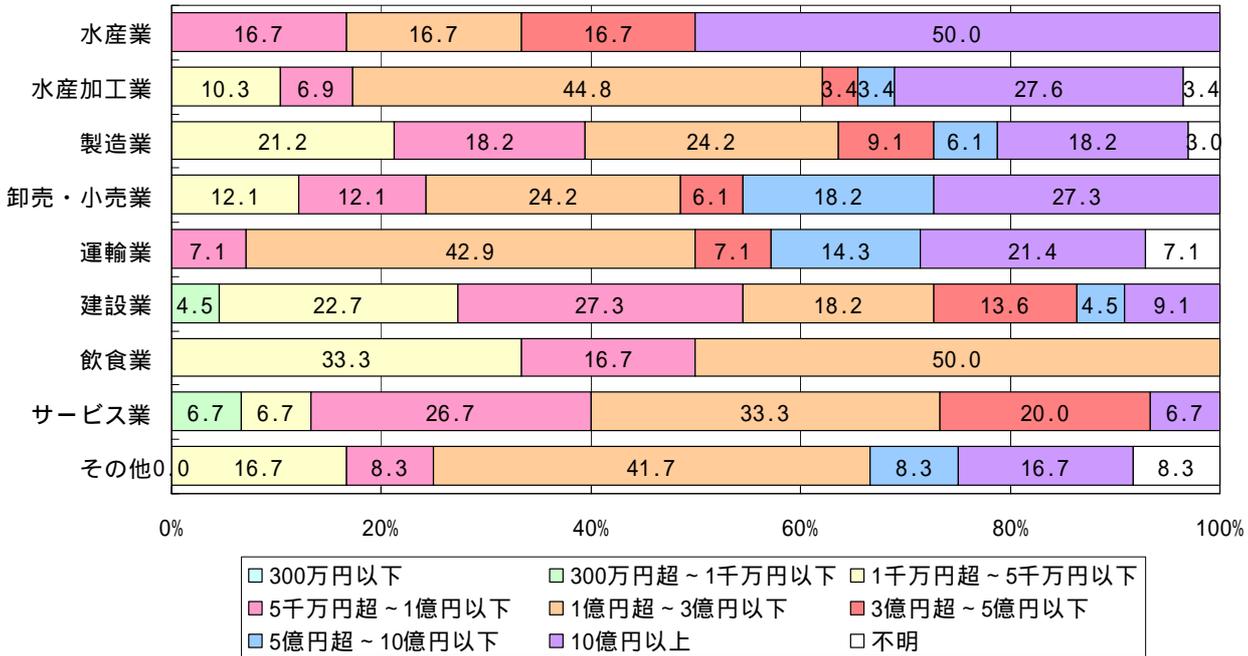
目 次

1. 業種別集計

問 4	業種別年間売上高	2
問 5	業種別の震災後の売上高の見通し	3
問 6	業種別従業員数	4
問 7	業種別の従業員数の変化	5
問 9 - 1	業種別の震災後の取引関係 塩竈市内	6
問 9 - 2	業種別の震災後の取引関係 宮城県内	7
問 9 - 3	業種別の震災後の取引関係 県外	8
問 1 6	業種別の震災による事業活動への影響	9
問 1 7	業種別の事業再開の見通し	10
問 1 8	業種別の今後の経営方針	11
問 2 1	事業再開と将来の発展のために必要な支援策	12
自由意見 a)	復興の障害、現在困っていること	17
自由意見 b)	復興のためのアイデア	22

1. 業種別集計

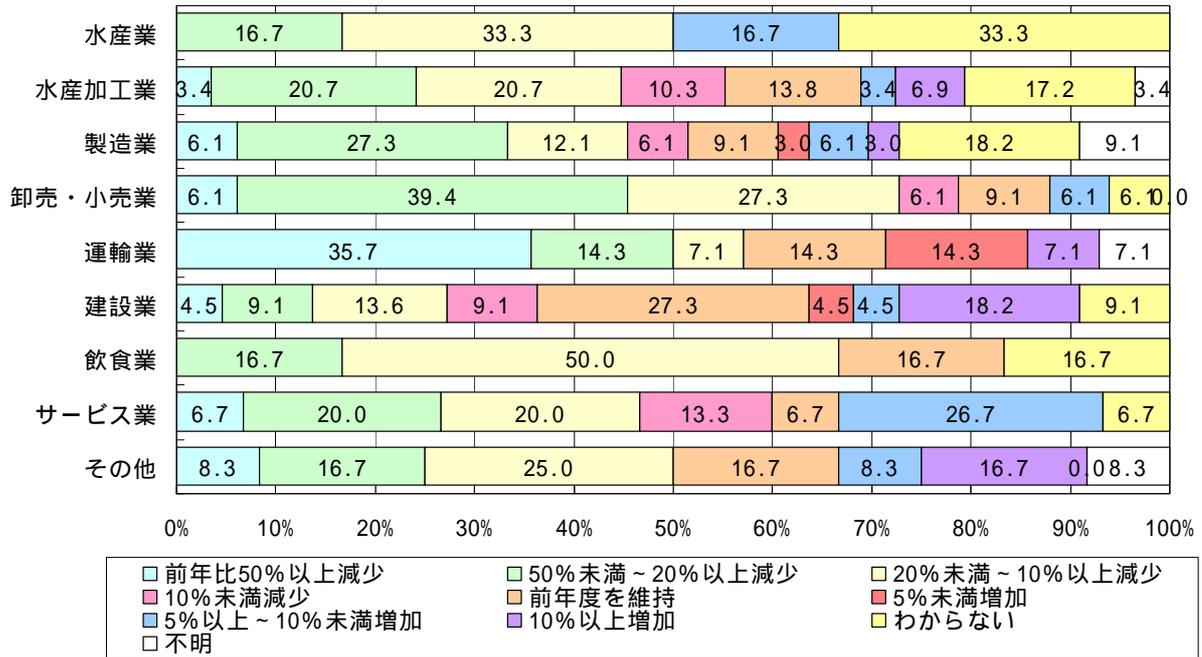
問4 業種別年間売上高



回答事業所の年間売上高を業種別にみると、年間10億円以上の売上高となっている事業所が比較的多く占めている業種は、塩竈市の基幹産業である水産業及び水産加工業、そして卸売・小売業、製造業などとなっている。

	合計	問4年間売上高								
		300万円以下	300万円超～1千万円以下	1千万円超～5千万円以下	5千万円超～1億円以下	1億円超～3億円以下	3億円超～5億円以下	5億円超～10億円以下	10億円以上	不明
全体	141	0	2	19	22	45	12	11	26	4
	100.0	0.0	1.4	13.5	15.6	31.9	8.5	7.8	18.4	2.8
水産業	6	0	0	0	1	1	1	0	3	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	50.0	0.0
水産加工業	29	0	0	3	2	13	1	1	8	1
	100.0	0.0	0.0	10.3	6.9	44.8	3.4	3.4	27.6	3.4
製造業	33	0	0	7	6	8	3	2	6	1
	100.0	0.0	0.0	21.2	18.2	24.2	9.1	6.1	18.2	3.0
卸売・小売業	33	0	0	4	4	8	2	6	9	0
	100.0	0.0	0.0	12.1	12.1	24.2	6.1	18.2	27.3	0.0
運輸業	14	0	0	0	1	6	1	2	3	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	7.1	42.9	7.1	14.3	21.4	7.1
建設業	22	0	1	5	6	4	3	1	2	0
	100.0	0.0	4.5	22.7	27.3	18.2	13.6	4.5	9.1	0.0
飲食業	6	0	0	2	1	3	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	15	0	1	1	4	5	3	0	1	0
	100.0	0.0	6.7	6.7	26.7	33.3	20.0	0.0	6.7	0.0
その他	12	0	0	2	1	5	0	1	2	1
	100.0	0.0	0.0	16.7	8.3	41.7	0.0	8.3	16.7	8.3

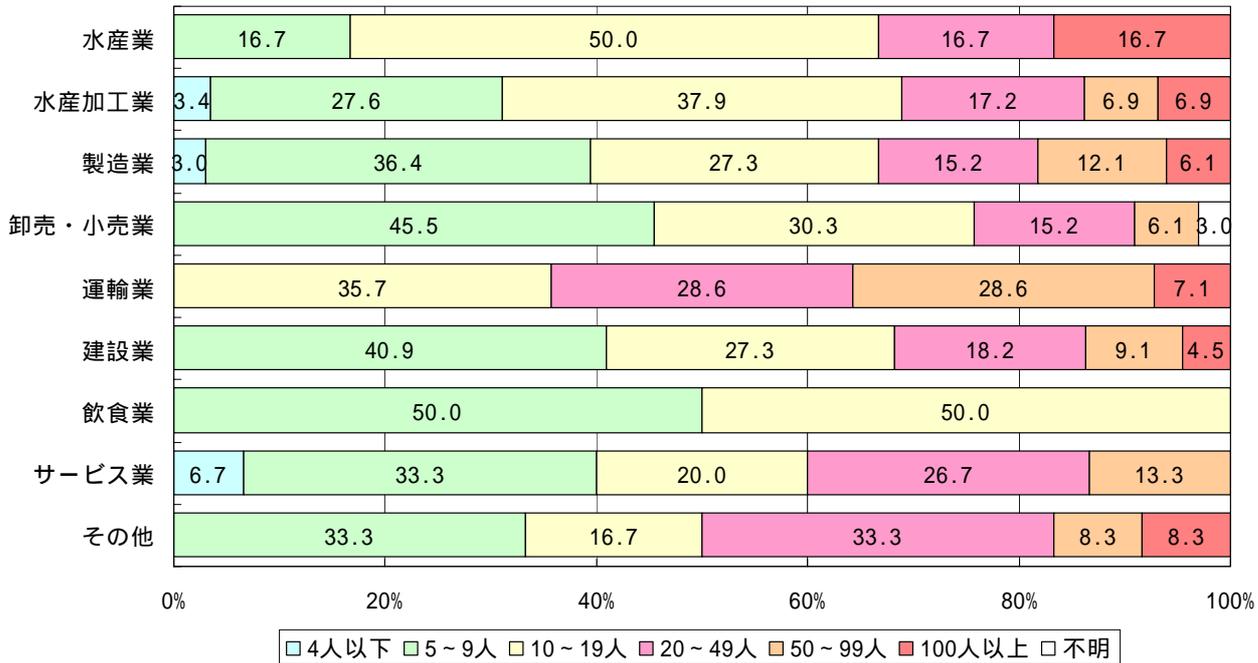
問5 業種別の震災後の売上高の見通し



回答事業所の震災後の売上高の見通しについて、減少する見通しとしている事業所が比較的多くなっている業種は、製造業や卸売・小売業、運輸業などで、逆に、塩竈市の基幹産業である水産業や水産加工業では、売上高が増加するとの明るい見通しを示している事業所が比較的多くなっている。

	合計	問5売上高の見通し									
		前年比50%以上減少	50%未満~20%以上減少	20%未満~10%以上減少	10%未満減少	前年度を維持	5%未満増加	5%以上~10%未満増加	10%以上増加	わからない	不明
全体	141	11	34	29	8	19	4	8	8	14	6
	100.0	7.8	24.1	20.6	5.7	13.5	2.8	5.7	5.7	9.9	4.3
水産業	6	0	1	2	0	0	0	1	0	2	0
	100.0	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0
水産加工業	29	1	6	6	3	4	0	1	2	5	1
	100.0	3.4	20.7	20.7	10.3	13.8	0.0	3.4	6.9	17.2	3.4
製造業	33	2	9	4	2	3	1	2	1	6	3
	100.0	6.1	27.3	12.1	6.1	9.1	3.0	6.1	3.0	18.2	9.1
卸売・小売業	33	2	13	9	2	3	0	2	0	2	0
	100.0	6.1	39.4	27.3	6.1	9.1	0.0	6.1	0.0	6.1	0.0
運輸業	14	5	2	1	0	2	2	0	1	0	1
	100.0	35.7	14.3	7.1	0.0	14.3	14.3	0.0	7.1	0.0	7.1
建設業	22	1	2	3	2	6	1	1	4	2	0
	100.0	4.5	9.1	13.6	9.1	27.3	4.5	4.5	18.2	9.1	0.0
飲食業	6	0	1	3	0	1	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	16.7	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
サービス業	15	1	3	3	2	1	0	4	0	1	0
	100.0	6.7	20.0	20.0	13.3	6.7	0.0	26.7	0.0	6.7	0.0
その他	12	1	2	3	0	2	0	1	2	0	1
	100.0	8.3	16.7	25.0	0.0	16.7	0.0	8.3	16.7	0.0	8.3

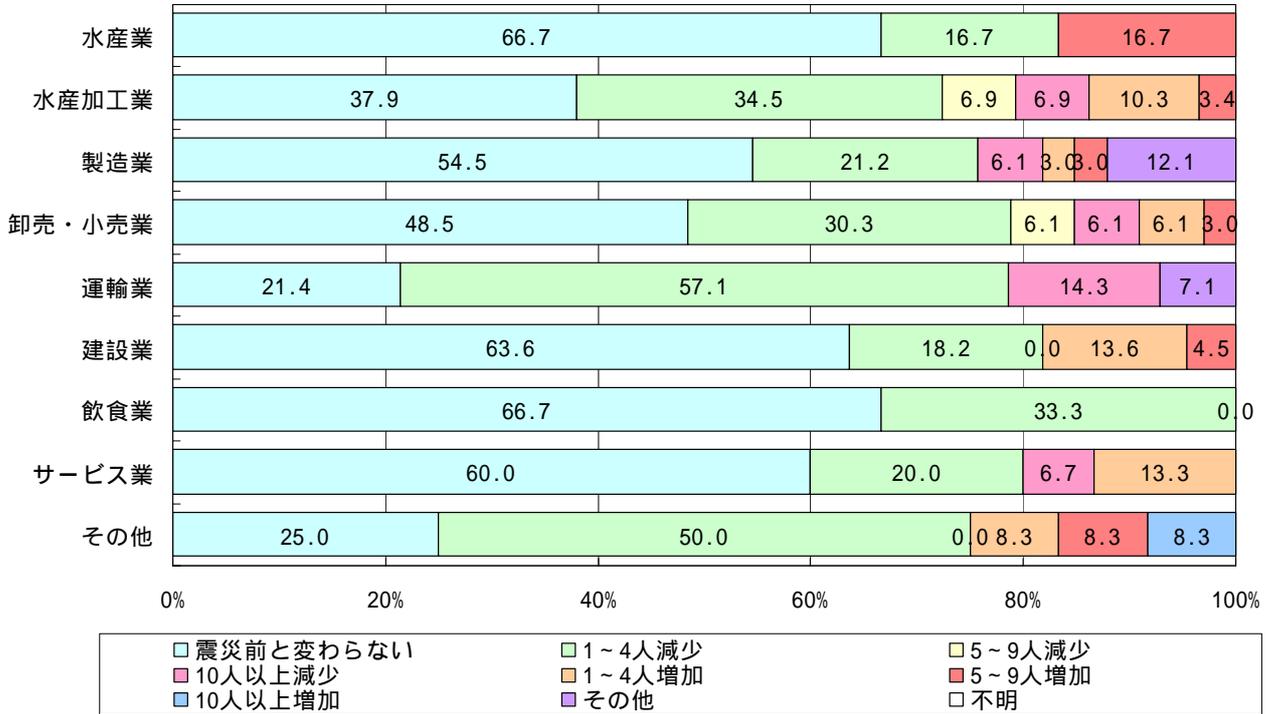
問6 業種別従業員数



回答事業所の業種別従業員数は、製造業や卸売・小売業、建設業、飲食店などの業種では、従業員数が「4人以下」あるいは「5~9人」とする事業所が比較的多く、中小規模の事業所が多くを占めている。

	合計	問6従業員数						
		4人以下	5~9人	10~19人	20~49人	50~99人	100人以上	不明
全体	141	3	47	42	26	15	7	1
	100.0	2.1	33.3	29.8	18.4	10.6	5.0	0.7
水産業	6	0	1	3	1	0	1	0
	100.0	0.0	16.7	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0
水産加工業	29	1	8	11	5	2	2	0
	100.0	3.4	27.6	37.9	17.2	6.9	6.9	0.0
製造業	33	1	12	9	5	4	2	0
	100.0	3.0	36.4	27.3	15.2	12.1	6.1	0.0
卸売・小売業	33	0	15	10	5	2	0	1
	100.0	0.0	45.5	30.3	15.2	6.1	0.0	3.0
運輸業	14	0	0	5	4	4	1	0
	100.0	0.0	0.0	35.7	28.6	28.6	7.1	0.0
建設業	22	0	9	6	4	2	1	0
	100.0	0.0	40.9	27.3	18.2	9.1	4.5	0.0
飲食業	6	0	3	3	0	0	0	0
	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	15	1	5	3	4	2	0	0
	100.0	6.7	33.3	20.0	26.7	13.3	0.0	0.0
その他	12	0	4	2	4	1	1	0
	100.0	0.0	33.3	16.7	33.3	8.3	8.3	0.0

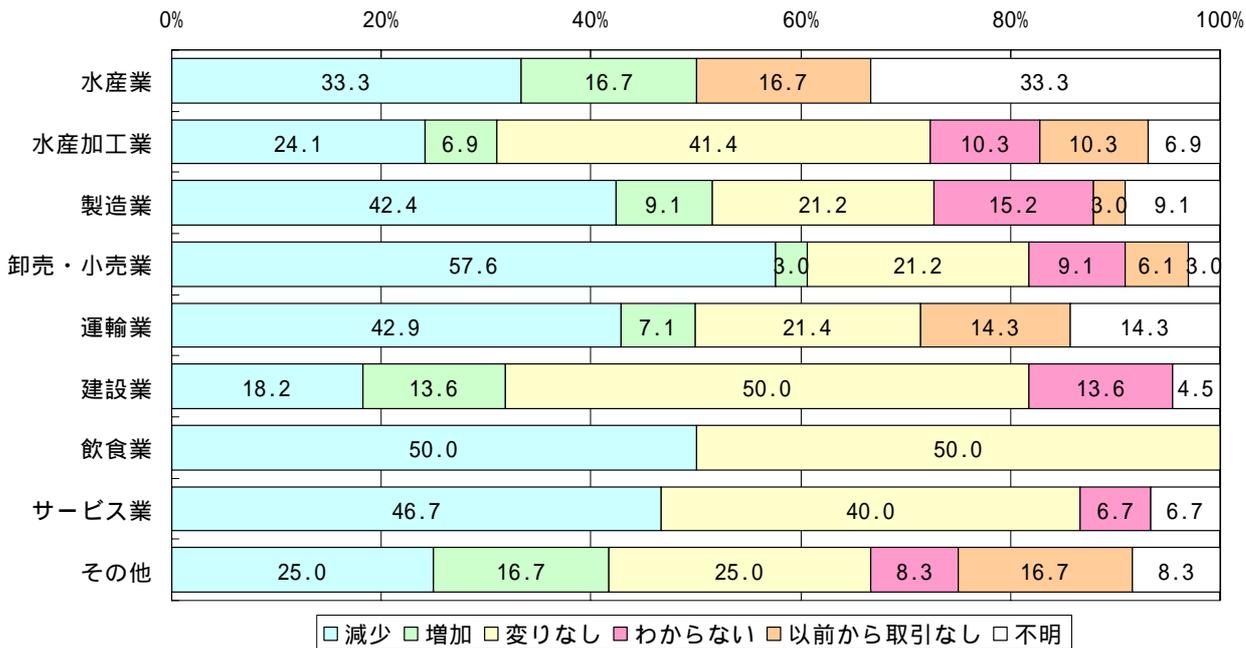
問7 業種別の従業員数の変化



回答事業所の震災前後の従業員数の変化について、多くの業種で「震災前と変わらない」としているが、水産加工業や製造業、卸売・小売業、運輸業などでは、「1~4人減少」とする事業所の割合が比較的多くなっている。

	合計	問7従業員数の変化								
		震災前と変わらない	1~4人減少	5~9人減少	10人以上減少	1~4人増加	5~9人増加	10人以上増加	その他	不明
全体	141	68	43	3	7	11	3	1	5	0
	100.0	48.2	30.5	2.1	5.0	7.8	2.1	0.7	3.5	0.0
水産業	6	4	1	0	0	0	1	0	0	0
	100.0	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
水産加工業	29	11	10	2	2	3	1	0	0	0
	100.0	37.9	34.5	6.9	6.9	10.3	3.4	0.0	0.0	0.0
製造業	33	18	7	0	2	1	1	0	4	0
	100.0	54.5	21.2	0.0	6.1	3.0	3.0	0.0	12.1	0.0
卸売・小売業	33	16	10	2	2	2	1	0	0	0
	100.0	48.5	30.3	6.1	6.1	6.1	3.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	14	3	8	0	2	0	0	0	1	0
	100.0	21.4	57.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
建設業	22	14	4	0	0	3	1	0	0	0
	100.0	63.6	18.2	0.0	0.0	13.6	4.5	0.0	0.0	0.0
飲食業	6	4	2	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	15	9	3	0	1	2	0	0	0	0
	100.0	60.0	20.0	0.0	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	12	3	6	0	0	1	1	1	0	0
	100.0	25.0	50.0	0.0	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0

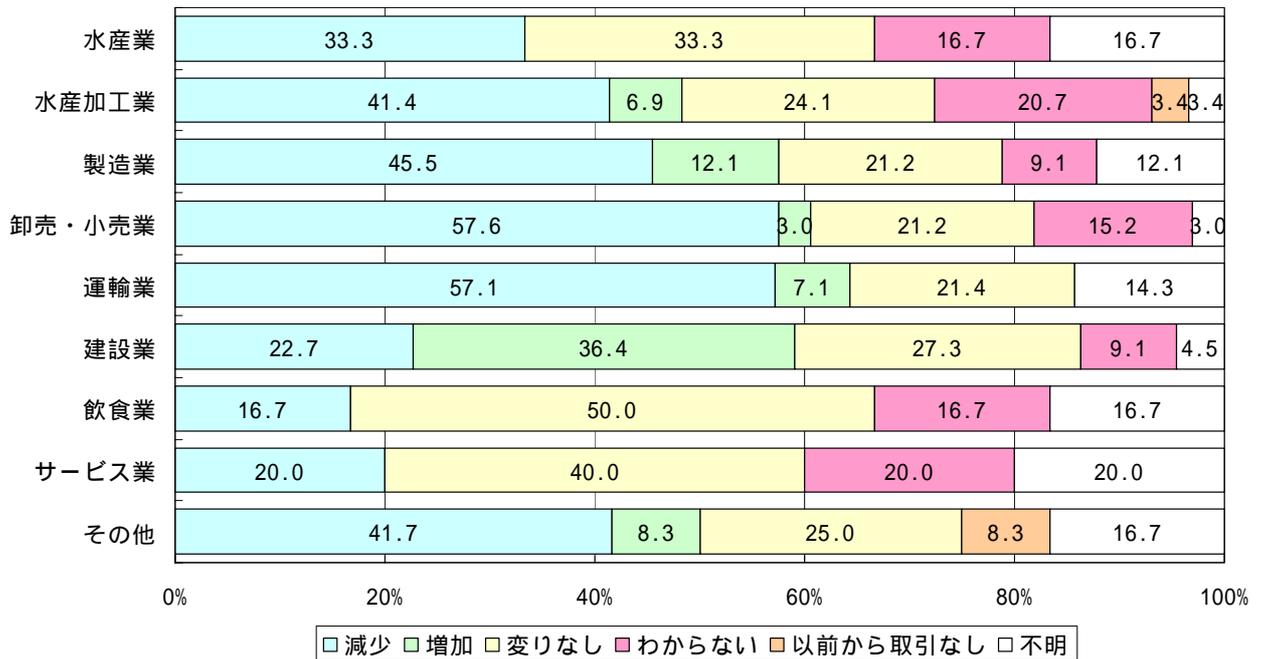
問9-1 業種別の震災後の取引関係_塩竈市内



震災後の塩竈市内の取引先との関係については、各業種とも取引関係が「減少」もしくは「変りなし」との見通しを示しており、増加すると見ている事業所は各業種とも少数にとどまっている。

	合計	問9-1塩竈市内企業との取引					
		減少	増加	変りなし	わからない	以前から取引なし	不明
全体	141 100.0	56 39.7	8 5.7	44 31.2	13 9.2	9 6.4	11 7.8
水産業	6 100.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3
水産加工業	29 100.0	7 24.1	2 6.9	12 41.4	3 10.3	3 10.3	2 6.9
製造業	33 100.0	14 42.4	3 9.1	7 21.2	5 15.2	1 3.0	3 9.1
卸売・小売業	33 100.0	19 57.6	1 3.0	7 21.2	3 9.1	2 6.1	1 3.0
運輸業	14 100.0	6 42.9	1 7.1	3 21.4	0 0.0	2 14.3	2 14.3
建設業	22 100.0	4 18.2	3 13.6	11 50.0	3 13.6	0 0.0	1 4.5
飲食業	6 100.0	3 50.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
サービス業	15 100.0	7 46.7	0 0.0	6 40.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7
その他	12 100.0	3 25.0	2 16.7	3 25.0	1 8.3	2 16.7	1 8.3

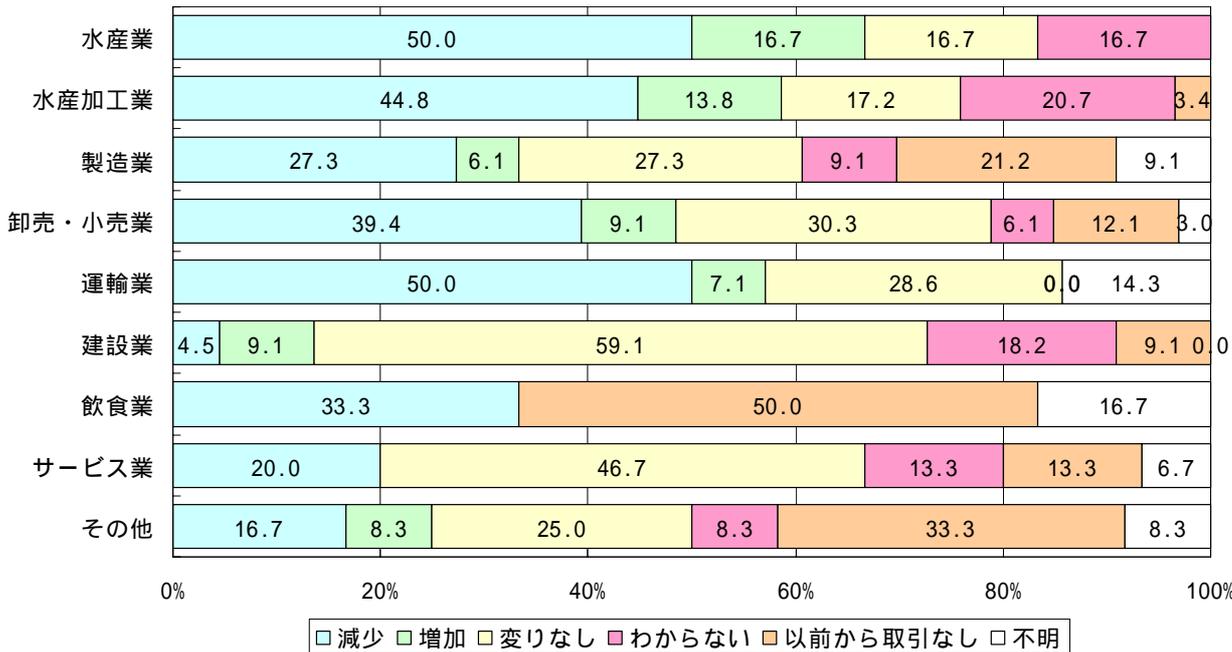
問 9-2 業種別の震災後の取引関係_宮城県内



震災後の宮城県内の取引先との関係については、水産加工業や製造業、卸売・小売業、運輸業などで取引関係が「減少」するとの見通しを示す事業所が多くを占めている。

	合計	問9-2宮城県内の企業との取引					
		減少	増加	変りなし	わからない	以前から取引なし	不明
全体	141	59	13	37	17	2	13
	100.0	41.8	9.2	26.2	12.1	1.4	9.2
水産業	6	2	0	2	1	0	1
	100.0	33.3	0.0	33.3	16.7	0.0	16.7
水産加工業	29	12	2	7	6	1	1
	100.0	41.4	6.9	24.1	20.7	3.4	3.4
製造業	33	15	4	7	3	0	4
	100.0	45.5	12.1	21.2	9.1	0.0	12.1
卸売・小売業	33	19	1	7	5	0	1
	100.0	57.6	3.0	21.2	15.2	0.0	3.0
運輸業	14	8	1	3	0	0	2
	100.0	57.1	7.1	21.4	0.0	0.0	14.3
建設業	22	5	8	6	2	0	1
	100.0	22.7	36.4	27.3	9.1	0.0	4.5
飲食業	6	1	0	3	1	0	1
	100.0	16.7	0.0	50.0	16.7	0.0	16.7
サービス業	15	3	0	6	3	0	3
	100.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0
その他	12	5	1	3	0	1	2
	100.0	41.7	8.3	25.0	0.0	8.3	16.7

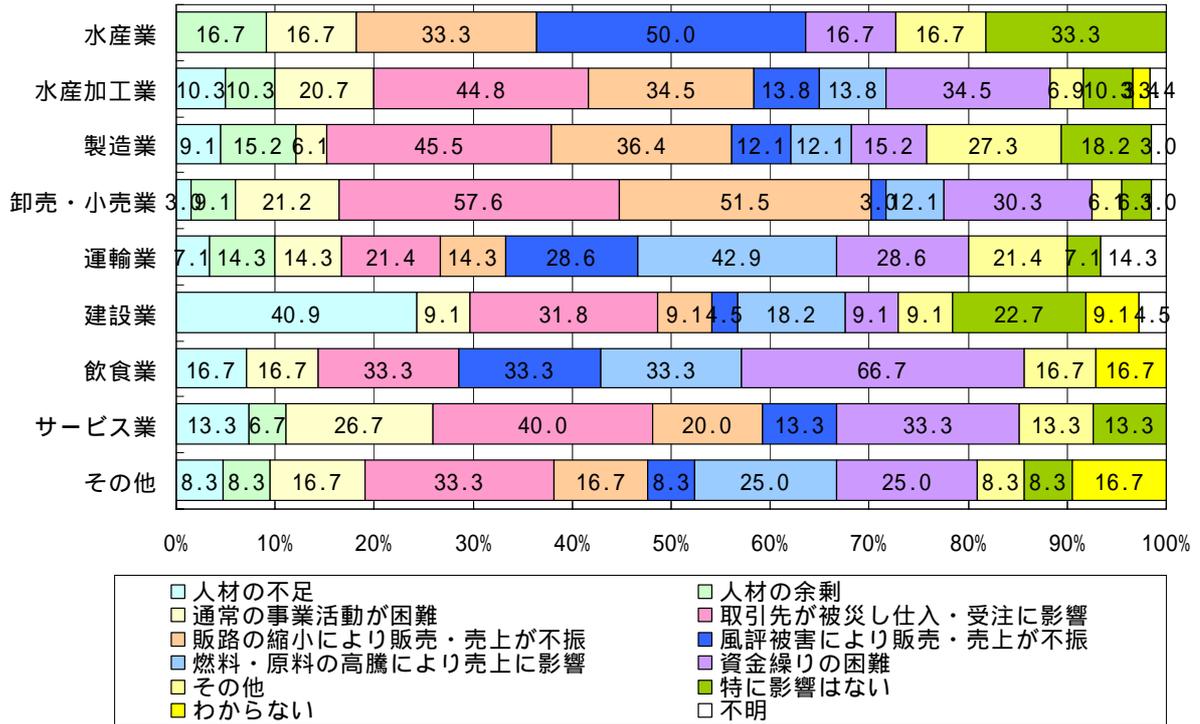
問 9-3 業種別の震災後の取引関係_県外



震災後の県外の取引先との関係については、水産業や水産加工業、製造業、卸売・小売業、運輸業など多くの業種で取引関係が「減少」との見通しを示している。

	合計	問9-3宮城県外の企業との取引					
		減少	増加	変りなし	わからない	以前から取引なし	不明
全体	141 100.0	45 31.9	9 6.4	43 30.5	15 10.6	21 14.9	8 5.7
水産業	6 100.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0
水産加工業	29 100.0	13 44.8	4 13.8	5 17.2	6 20.7	1 3.4	0 0.0
製造業	33 100.0	9 27.3	2 6.1	9 27.3	3 9.1	7 21.2	3 9.1
卸売・小売業	33 100.0	13 39.4	3 9.1	10 30.3	2 6.1	4 12.1	1 3.0
運輸業	14 100.0	7 50.0	1 7.1	4 28.6	0 0.0	0 0.0	2 14.3
建設業	22 100.0	1 4.5	2 9.1	13 59.1	4 18.2	2 9.1	0 0.0
飲食業	6 100.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	1 16.7
サービス業	15 100.0	3 20.0	0 0.0	7 46.7	2 13.3	2 13.3	1 6.7
その他	12 100.0	2 16.7	1 8.3	3 25.0	1 8.3	4 33.3	1 8.3

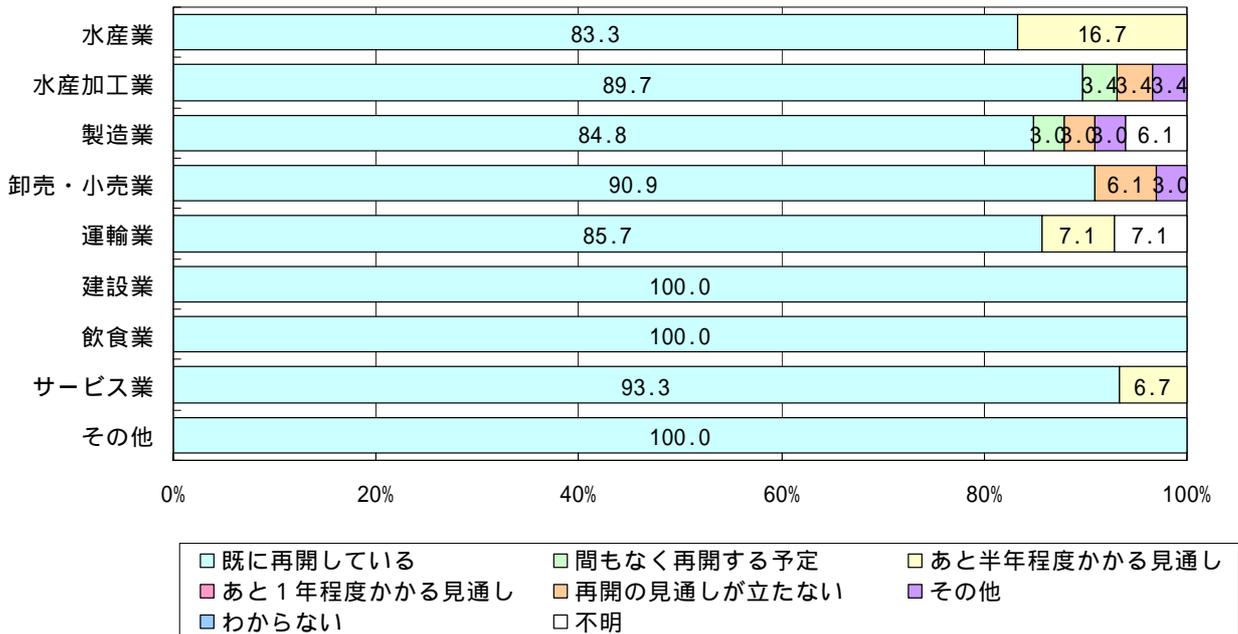
問 16 業種別の震災による事業活動への影響



業種別にみた震災による事業活動の影響については、水産業では「風評被害により販売・売上が不振」が、水産加工業や製造業、卸売・小売業、サービス業では「取引先が被災し仕入・受注に影響」が、運輸業では「燃料・原料の高騰により売上に影響」が、建設業では「人材の不足」が、飲食業では「資金繰りの困難」が、それぞれ最も大きい影響として挙げられている。

	合計	問16事業活動への影響											不明
		人材の不足	人材の余剰	通常の事業活動が困難	取引先が被災し仕入・受注に影響	販路の縮小により販売・売上が不振	風評被害により販売・売上が不振	燃料・原料の高騰により売上に影響	資金繰りの困難	その他	特に影響はない	わからない	
全体	141	20	12	23	58	39	16	23	37	19	15	6	6
	100.0	14.2	8.5	16.3	41.1	27.7	11.3	16.3	26.2	13.5	10.6	4.3	4.3
水産業	6	0	1	1	0	2	3	0	1	1	2	0	0
	100.0	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3	50.0	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0
水産加工業	29	3	3	6	13	10	4	4	10	2	3	1	1
	100.0	10.3	10.3	20.7	44.8	34.5	13.8	13.8	34.5	6.9	10.3	3.4	3.4
製造業	33	3	5	2	15	12	4	4	5	9	6	0	1
	100.0	9.1	15.2	6.1	45.5	36.4	12.1	12.1	15.2	27.3	18.2	0.0	3.0
卸売・小売業	33	1	3	7	19	17	1	4	10	2	2	0	1
	100.0	3.0	9.1	21.2	57.6	51.5	3.0	12.1	30.3	6.1	6.1	0.0	3.0
運輸業	14	1	2	2	3	2	4	6	4	3	1	0	2
	100.0	7.1	14.3	14.3	21.4	14.3	28.6	42.9	28.6	21.4	7.1	0.0	14.3
建設業	22	9	0	2	7	2	1	4	2	2	5	2	1
	100.0	40.9	0.0	9.1	31.8	9.1	4.5	18.2	9.1	9.1	22.7	9.1	4.5
飲食業	6	1	0	1	2	0	2	2	4	1	0	1	0
	100.0	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0	33.3	33.3	66.7	16.7	0.0	16.7	0.0
サービス業	15	2	1	4	6	3	2	0	5	2	2	0	0
	100.0	13.3	6.7	26.7	40.0	20.0	13.3	0.0	33.3	13.3	13.3	0.0	0.0
その他	12	1	1	2	4	2	1	3	3	1	1	2	0
	100.0	8.3	8.3	16.7	33.3	16.7	8.3	25.0	25.0	8.3	8.3	16.7	0.0

問 17 業種別の事業再開の見通し

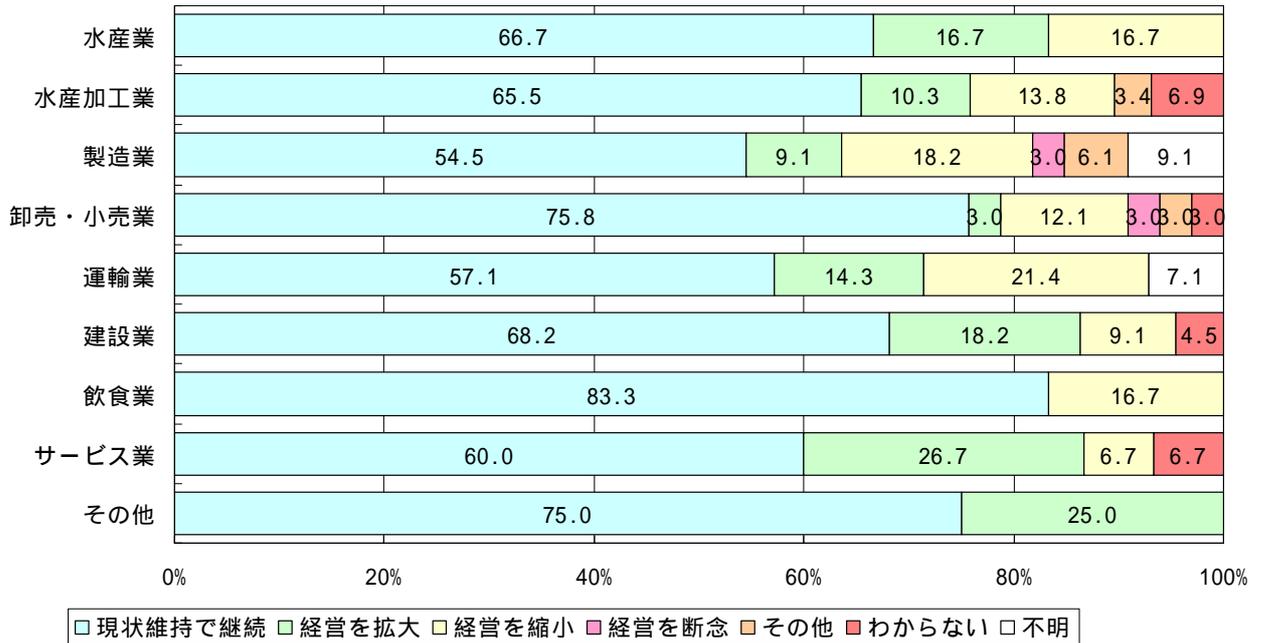


震災後の事業再開の見通しについては、各業種とも「既に再開している」事業所が大部分を占めている。

わずかではあるが、水産業や水産加工業、製造業、卸売・小売業、運輸業、サービス業などで、今後の再開に時間がかかる事業所や再開の見通しが立たない事業所がある。

	合計	問17事業再開の見通し							
		既に再開している	間もなく再開する予定	あと半年程度かかる見通し	あと1年程度かかる見通し	再開の見通しが立たない	その他	わからない	不明
全体	141 100.0	128 90.8	2 1.4	3 2.1	0 0.0	3 2.1	2 1.4	0 0.0	3 2.1
水産業	6 100.0	5 83.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
水産加工業	29 100.0	26 89.7	1 3.4	0 0.0	0 0.0	1 3.4	1 3.4	0 0.0	0 0.0
製造業	33 100.0	28 84.8	1 3.0	0 0.0	0 0.0	1 3.0	1 3.0	0 0.0	2 6.1
卸売・小売業	33 100.0	30 90.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.1	1 3.0	0 0.0	0 0.0
運輸業	14 100.0	12 85.7	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1
建設業	22 100.0	22 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
飲食業	6 100.0	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
サービス業	15 100.0	14 93.3	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	12 100.0	12 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問 18 業種別の今後の経営方針



今後の経営方針については、各業種とも「現状維持で継続」とする事業所が多くを占めているが、水産加工業や製造業、卸売・小売業、運輸業などでは、「経営を縮小」する事業所が比較的多くなっている。

	合計	問18今後の基本的な経営方針						
		現状維持で継続	経営を拡大	経営を縮小	経営を断念	その他	わからない	不明
全体	141	97	14	17	2	3	4	4
	100.0	68.8	9.9	12.1	1.4	2.1	2.8	2.8
水産業	6	4	1	1	0	0	0	0
	100.0	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
水産加工業	29	19	3	4	0	1	2	0
	100.0	65.5	10.3	13.8	0.0	3.4	6.9	0.0
製造業	33	18	3	6	1	2	0	3
	100.0	54.5	9.1	18.2	3.0	6.1	0.0	9.1
卸売・小売業	33	25	1	4	1	1	1	0
	100.0	75.8	3.0	12.1	3.0	3.0	3.0	0.0
運輸業	14	8	2	3	0	0	0	1
	100.0	57.1	14.3	21.4	0.0	0.0	0.0	7.1
建設業	22	15	4	2	0	0	1	0
	100.0	68.2	18.2	9.1	0.0	0.0	4.5	0.0
飲食業	6	5	0	1	0	0	0	0
	100.0	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	15	9	4	1	0	0	1	0
	100.0	60.0	26.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0
その他	12	9	3	0	0	0	0	0
	100.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 21 事業再開と将来の発展のために必要な支援策

【問 21】貴社の事業再開と将来の発展のために、特に必要としておられる支援策はございますか。

具体的にご記入ください

【水産業】

- ・ 風評被害の縮小と安定的な資金繰り

【水産加工業】

- ・ 税金面での優遇（免除等）
- ・ 雇用維持への助成を幅広く
- ・ 手厚い助成等、継続する上での金融的サポート
- ・ 安定した原料魚の仕入れが出来る事
- ・ 自然エネルギーへの転換（太陽光発電など）投資するための補助助成金融資など
- ・ 自社の努力のみ
- ・ 風評被害の縮小と安定的な資金繰り
- ・ 私の所は被害も少ないのですが、仕事が前より資金の事で毎日大変です。
- ・ 融資
- ・ 工場修復の費用、機器類の修理費用等の支援
- ・ 原料の入手
- ・ 企業を誘致するなど塩釜の経済を活性化してほしい
- ・ 取引先の拡大
- ・ 売上が減少しているので資金的支援をして欲しい
- ・ 公的な無利子の資金援助
- ・ 老朽化している塩釜魚市場の再整備を行ない、大型漁船が入港出来る環境を作って頂きたい。
- ・ 長期的低金利融資。湾の埋め立て。北浜地区の嵩上げ。
- ・ 今後、同様の事態を考慮・懸念したばあい代表者の保証の範囲にも限界があって、融資は柔軟性をもって対応して頂きたい。また、借入の返済は今後の修理復旧を圧迫するので、ご猶予をぜひ承してほしい。・・・金融機関に対して。
- ・ 被災した設備の買い替え資金
- ・ 国又は県の支援金が特に必要である。
- ・ 新工場建設資金

【製造業】

- ・ この度の震災で全壊になった倉庫の解体、撤去費用を塩竈市で負担していただけるので助かる。
- ・ 生産設備機械が冠水したため使用不可能の台数が多い。機械購入のための助成金が欲しい。借入金では返済が難しいと思います。
- ・ 被災復旧の為に補助金
- ・ 会社継続のために資金の借入れが必要だが、営業再開後の経営が軌道にのるまで返済の猶予や利息引き下げが必要である。また個人に対しての国や県、市町村からの補償はあるが、企業に対しての補償はすくないので、検討が必要である。
- ・ 機器類（印刷機・製本機等）を新たに購入せざるを得なかった為に二重リースが発生し、支払い額が単純に倍以上となり、経営を圧迫している。更に雇用を維持継続する事で売上額に対し労務費が大きな負担となっている。上記にことから、二重リースに対する方策や支援を熟慮頂きたい。また仕事の発生には地元企業を優先的に受注業者（業者）として配慮を頂きたい。
- ・ 原材料の入手
- ・ 加工団地内の地盤沈下空工場の利用活用について、塩釜市でも支援してほしい。加工団地内の活気が無い。
- ・ 今回の震災に対しての市の対応には満足しています。しかし現状での再開を考えた時に工場のある現在地での経営を考えると不安を拭いきれない。防波堤の設置をせつに願います。
- ・ 震災時に津波により多くの被害を受けると同時に市（町）民への迷惑がかかった事をふまえて5m程の防波堤を希望。
- ・ 観光地としての景観創造への明確な工程（時間軸有り）
- ・ 固定資産税の減免
- ・ 資金です。事業再開するにあたって、失った工作機械の購入や設備投資の為に多額の融資と言う借金を背負いました。二重ローンの問題をあり、ゼロからの出発ではなくマイナスからの出発です。企業にも個人のような再建支援金のような制度があれば今後の助けになったかもしれない。
- ・ 資金の支援は無理としても工場の建物・工作機械・各工具類・事務機器・用品等書けばキリがないが、全てを失った当社としては、どんな支援でも欲しいところです。
- ・ 他自治体では中古機械や工具等の支援、斡旋があると新聞・報道等でみましたが、塩竈市ではそのような支援等はないのでしょうか。
- ・ 今後、同様の事態を考慮・懸念したばあい代表者の保証の範囲にも限界があって、融資は柔軟性をもって対応して頂きたい。また、借入の返済は今後の修理復旧を圧迫するので、ご猶予をぜひ承してほしい。・・・金融機関に対して。
- ・ 資産の流失、損傷修理に対する補助金の助成
- ・ 法人税、事業税の免税減税による助成
- ・ 被災した設備の買い替え資金

- ・ 十数年前から始まった地場産業の衰退に伴い元々大きな負債を負っています。今回の震災ではまた大きな負債を強いられ。返済と利息に日々資金繰りに振り回されています。工場の稼働はお陰さまで順調なのですが、大きな借入が負担となっています。二重ローン問題が話題となっていますが、中小零細企業は三重、四重、五重の負債があるのは決して珍しくありません。健全な企業活動をするには今回の震災についての借入はもっと特殊な支援があればと思うのですが。

【卸売・小売業】

- ・ 円滑な金融支援
- ・ バブルがはじけてからは当地を含む二市三町の小売店の衰退は東北でも一番と食品業界では話題になり、なぜという事でよく聞かれもしました。水産が基幹産業と言うが少しの市内の流通業界が行政等から置き去りになったんじゃないでしょうか！量販店の進出に絡み酒、くすり、雑貨店、食品等々…何々屋が全て横文字（ドラッグ、ホームセンター等）が昔の店屋を潰し町も一変しました。弱者（お年寄り車のない人等）は買物難民になり近くの何々店屋を望んでおります。我々の将来は日を追う事に先細りしていますが、若い息子に社長になってもらい何か新しい感覚で、この時代に戦いを挑んでいます。象に針を向けるようなものですが、必ず何かが出来ると思い先に進むのみです。市中銀行の借入れの際の金利、補填等は非常に助かります。
- ・ この度の震災で全壊になった倉庫の解体、撤去費用を塩竈市で負担していただけるので助かる。
- ・ のりを作る生産者に十分な資金的な援助をしていただいて立派な生産地として復活してもらいたい。
- ・ トラック関係不足、水産業（当社の客先）はいろいろな物的支援をうけているのでうらやましく思う時もあります。
- ・ 塩竈市として今一度街の商店が担う（震災時）ことができる役割を行政の主導ではなく、営業再開している方々と構築する必要。
- ・ この街で商うことの意味を今一度考える必要。街全体のバランスのよい商店・企業のあり方。最大の支援策は行政支援ではなく、地域住民からの支援
- ・ 被害を受けた建物（事務所、倉庫）、地盤沈下補修の支援策が必要です。
- ・ 国の支援
- ・ 解体費用など罹災証明による支援枠を増やして欲しい
- ・ 水産加工業復興なしで塩釜元気にならない為、水産業等の一次産業ばかりでなく、加工、流通業への支援をお願いしたい。
- ・ 加工団地、地盤沈下ひどく行政での修繕補助など、協力願いたい。
- ・ 行政の早い方向性を示していただきたい。
- ・ 資金繰りの件では銀行からの決算も遅く、前年度の決算書が目安となるためこの度の震災では全く力になっていただけませんでした。市が先頭に立って、ぜひ小企業の力になっていただきたいと強く思いました。
- ・ 長期の無利子による資金融資をお願いしたい（市または県、国が利子補填をする）

- ・ 施設の被害に対する助成が皆無である。他の業界と衡平なる助成を接に希望します。（強くお願いします。）
- ・ 長期的低金利融資。湾の埋め立て。北浜地区の嵩上げ。
- ・ 低金利での融資
- ・ 被災した設備の買い替え資金
- ・ 自助努力のみ
- ・ 国又は県の支援金が特に必要である。
- ・ 最長 15 年（据置 3 年以内）の融資して頂ければ大変心強く頑張れる事と存じます。
- ・ 商品の損失が大きく震災以前に戻すには長い期間が必要だ。営業再開の為の支援がもっと必要だと思う。個人では限度がある。

【運輸業】

- ・ 被災した車両等設備に対しての助成金等や低金利の融資
- ・ 被災して不要となった土地を買い上げてほしい。
- ・ マリンゲート塩釜の復旧。岸壁、駐車場の嵩上げ
- ・ 塩釜港やその他工業港の一日も早い復旧
- ・ 雇調金などの助成金の金額の上乗せ及び対象期間の延長
- ・ 塩釜港の活性化、背後地の整理。高速道路利用料の継続無料化
- ・ 個人に対しては支援金はあるが、会社に対しての支援金がないのはどんな事ですか。会社に対して支援してもらいたいです。
- ・ 資金計画で安い金利の借入れで資金調達
- ・ 車両の早期に取り揃えてはやめに運行したいので車両の庫入
- ・ 塩釜港一帯の再開発と整備。地盤沈下地域の復旧工事

【建設業】

- ・ 会社の建物等の損害は別としても市の発注工事での損害は実情に照らして支援してほしいです。
- ・ 公庫、銀行から機械工具、事務所用品を買いたいのにどこも貸してくれない。震災前は銀行は借りてくれませんでした。今は断られて困っています。
- ・ 電気機器設備復旧にかかる費用の支援
- ・ 生産設備機械が冠水したため使用不可能の台数が多い。機械購入のための助成金が欲しい。借入金では返済が難しいと思います。
- ・ 被災復旧の為の補助金
- ・ 義援金・支援金
- ・ 資産の流失、損傷修理に対する補助金の助成
- ・ 法人税、事業税の免税減税による助成
- ・ 緊急事態の物流の配達

【飲食業】

- ・ 市民全体が市内の中で被災の大きな場所に行ってボランティアをする事が必要（例えば離島に行く）。その様な政策を早く実施し市民の協力をあおぐ。現状を市民に知ってもらう。
- ・ 多賀城市が震災情報が停電のため市民の方に情報が伝わらなかったと聞いております。塩竈市はあの状況にもかかわらず適切な情報提供がどんなに心強かったかしれません。
- ・ 復興にはまだまだ時間がかかるとは思いますが、今後ともご尽力頂けますよう宜しくお願いいたします。震災後の市職員の皆様の不眠不休のご活躍に心から感謝しております。
- ・ 二重ローンの問題
- ・ 道路の高低差の問題（地盤を県道と同じ高さにしてほしい）
- ・ 仙台、塩竈、松島等の大規模なイベント
- ・ JR、旅行業者等との復興ツアー企画

【サービス業】

- ・ 資金手当て（低利の資金）が必要。市としても新車の購入、車両の整備等市内の工場を活用して欲しい。入札で安くさせるだけではないのではないかと？
- ・ マリンゲート塩釜の復旧。岸壁、駐車場の嵩上げ
- ・ 本町海岸に公共的なものを作って欲しい。くるくる広場にホテルを。
- ・ 被害を受けた建物（事務所、倉庫）、地盤沈下補修の支援策が必要です。
- ・ 塩竈市は「カマボコ」の生産が日本でも高い方と聞いていますので、製品の改良や新製品作成に助成支援必要と考える塩竈に得意なもので勝負して雇用の場を広げる
- ・ 観光地としての景観創造への明確な工程（時間軸有り）
- ・ 水害対策の充実
- ・ 町全体の活性化対策
- ・ 車両の流出、不良で車両台数が減少し将来の入庫の見通しが無い。いつ元の台数に成るか心配で、同業者の減少が見込まれる

【その他】

- ・ 円滑な金融支援
- ・ 被災地の早い復旧なくして事業再開、発展はあり得ない。被害者の心が萎えないうちに。
- ・ 港に隣接した建物の為、今回は津波の被害は少なかったものの防波堤が必要
- ・ 補助金
- ・ 本町海岸に公共的なものを作って欲しい。くるくる広場にホテルを。
- ・ 老朽化している塩釜魚市場の再整備を行ない、大型漁船が入港出来る環境を作って頂きたい。
- ・ 市発注公共工事及び単品等は市内に営業所もしくは出張所を設けている会社をお願いしたい。（市の税収入になると思います）

自由意見 a) 復興の障害、現在困っていること

a) 復興の障害になっていることや、いま現在困っていることがあればご記入ください。

【水産業】

- ・ 震災以前からの考えであるが、産業振興あつての税収であり、福祉である。産業振興が復興の大前提ではないだろうか。その為にも市立病院を廃院するか、日赤へ無償譲渡する事で、市立病院に向けている血税を産業振興に廻して頂きたい。

【水産加工業】

- ・ 地盤沈下により当社の入口の側溝部分の傾斜が変わってしまい、入口に巨大な水溜りが出来て困っています。幸い今年は雨がそれ程多くないので何とかなっていますが、今後降雨の際大変な状況になると思われます。歩道にて迅速な対応をしてください。
- ・ 市役所になかなか行けず、市の方々との相談が出来ずにいる。時間を取って出向いても混雑していて、帰って来ました。もしよければ、地区ごとに職員の方が出向いてもらえればとても助かります。
- ・ 国からの支援策が遅い。特に塩竈市は水産加工が发展しなければ雇用も増えないため水産加工に対する大きな支援を要望する。
- ・ 売上減少。
- ・ 福島方面での原発による売上減少。
- ・ 南三陸の売上先の減少。
- ・ 会社復興を強く希望しているが資金のめどがたたない。被害が大きすぎるため早急に行政の支援が必要。
- ・ 具体的には、水産・水産加工業への放射能被害を最も心配している。
- ・ 被災した設備が全て整っておらず、大きな注文に対し、生産が出来ないため断わる対応しか出来ない。
- ・ 国に企業の為の復興資金を一日でも早く引出すよう要望する。
- ・ 福島原発が気になります。毎日の様に問い合わせがあります。線量計など計器、検査機関の充実、今後必要になる可能性大かと思えます。

【製造業】

- ・ 地盤が沈下し高潮で困っている。一企業としては費用がかかり土地（地盤）の嵩上げはできないので行政（国、県）で対応してもらいたい。
- ・ 地盤沈下対策
- ・ 道路の不備を早急に修復して欲しい（橋梁を含む）

- ・ 信号の復旧を急いで欲しい
- ・ 岸壁やプラントを早急に修復して欲しい。
- ・ 地元企業の復旧復興に欠かせない一つに仕事・業務の発注を「地元企業優先」と考えます。（安易な手段を取る事の無い様に配慮頂きたい。）
- ・ 当工場付近における『高潮時の水溜り』と『信号機の停止』。
- ・ 石油基地から貞山大橋を渡った付近における高潮時の水溜り。
- ・ ・大雨時に出来る大規模な水たまり（通行不可）。
- ・ 特定の業種だけ助成金が行き渡っている。
- ・ 水産業への助成と他産業への助成はあまりにも差別がありすぎる。水産業だけが塩釜の産業ではない。
- ・ 毎年多大な税金を納付しているがいざという時の助けが全然ない。不公平極まりない。
- ・ 建築制限の無い塩竈市では「どうぞ建て直して戻ってください」というが、満潮・大潮時に敷地跡まで冠水するような土地に住居・工場等を再建して事業・生活を再開させてよいものでしょうか。
- ・ 被災した北浜の土地をこの先どうしたらよいかまたどうなるのかが一番の心配事であり、復興に際しての障害です。塩竈の報道等による情報も少なく先の見えない私達にとってはまだ4ヶ月ではないのです。
- ・ 今回の大震災は誰もが知る未曾有の大災害でしたが、少しでも早く市としての復興計画をたてられるよう願う次第です。
- ・ 具体的には、水産・水産加工業への放射能被害を最も心配している。
- ・ （現在破損したままになっている）当社入口前の信号機の修理、道路の整備補修、害虫駆除等。今回のような大津波警報が発令された時には弊社の前にあるJR東塩釜駅構内に避難（最も近くて、最も安全な）可能となる制度をJRと折衝願いたい。
- ・ 被災した設備が全て整っておらず、大きな注文に対し、生産が出来ないため断わる対応しか出来ない。
- ・ 最近道路が異常に混んでいるので、幹線道路の拡幅か復興道路の様なものを早急に造る必要があると思う。（仙台より石巻等被災地に行くのに時間が掛かり過ぎる）
- ・ 資金面で余裕がない。
- ・ 津波の被害もですが、放射能の被害状況が分からず不安で一杯です。塩竈市として、放射能の飛散状況を公表してください。何れ今後長年放射能と付き合っていくのですから包み隠さず公表して下さい。その上で対策を講じる方法を全市民で考えていけばと思います。
- ・ 当然、風評被害は避けて通れないのですから風評に負けない街づくり（経済も含めて）をしていきたいです。

【卸売・小売業】

- ・被災した事務所への早期な復興支援。当社は被災もまぬがれても、得意先が被災しているため。
- ・地盤が沈下し高潮で困っている。一企業としては費用がかかり土地（地盤）の嵩上げはできないので行政（国、県）で対応してもらいたい。
- ・車がほしいです。
- ・海沿いの住宅地に人が住んでおりません。津波があったから山側にとっても簡単にはいきません。再び住民がもどれる地盤作りが必要です。
- ・スピードのある復興政策を望みます
- ・国・県等の支援がない遅い。グランドデザインの早期発表を。
- ・復興支援が一次産業への補正中心で加工、流通業への支援が全くない。塩釜市が港町として水産業中心に栄えてきて今後も継続させていく為に加工業者への支援なくしては厳しい状況です。震災後他地区へ量販店売り場取られ加工業者は稼働率半減しかも設備修繕などで二重債務負っており返済時期まで完全復活できない場合、今度倒産多発可能性があります。塩釜市は三陸他地区に比べて被害が少ないはず対策遅くなっていないか？改めて頑張ってもらいたいと思います。我々他県企業も事業所運営において民間の業績如何で閉鎖可能性もあります。撤退 加工業者競争低下 水産業衰退とならぬようよろしくお願いします。
- ・震災後の青果小売店における販売上の不振が市場にも影響が出て来ており、今後の見通しがつかず、又建物の整備も国からの支援がどこまでして頂けるのか不安に思っております。
- ・特定の業種だけ助成金が行き渡っている。
- ・会社復興を強く希望しているが資金のめどがたたない。被害が大きすぎるため早急に行政の支援が必要。
- ・被災した設備が全て整っておらず、大きな注文に対し、生産が出来ないため断わる対応しか出来ない。
- ・被害者各位の復興意欲を尊重し、復興計画とやらでおさえつけないことを願います。
- ・国に企業の為の復興資金を一日でも早く引出すよう要望する
- ・最近道路が異常に混んでいるので、幹線道路の拡幅か復興道路の様なものを早急に造る必要があると思う。（仙台より石巻等被災地に行くのに時間が掛かり過ぎる）。

【運輸業】

- ・電話がつながるようになり、救援系の依頼があったが、燃料不足や高速道の許可が厳しくて動けなかった。今後の対応を考えてほしい。
- ・下水道の整備。
- ・今回の震災で浄化槽に被害があり。応急処置を行い使用可能な状態となっはいるが、新たに設置すべきか検討を行なっている。市役所に問い合わせたところ、当社の近くまでは下水道が整備されているということだったので、早急に敷設を行なっていただきたい。

- ・ 梅の宮その他震災により建物、壁が危険な状態になっていても今だ手つかずの箇所はどのように復興していくのか。市道、県道、私道の整備。
- ・ 浸水した機器にドブの臭いがあることから側溝の水洗い清掃をお願いしたい。
- ・ 企業から流出した肥料・飼料等の臭いがあることから全量の回収をお願いしたい。このような悪い環境を排除した後でなければ他県からのお客様の誘致は困難だと思慮します。
- ・ 道路が地盤沈下しており満潮時に冠水し使用できない状態にある。
- ・ 企業が立ち直らない限り雇用や復興につながって行かないのでは。

【建設業】

- ・ 市の公共事業施工中での被災に対し、工事金額に対する市の支援策等があれば大変助かります。
- ・ 隣接町村との連携。塩竈市内のガレキ片付けは被害が他市町と比較し軽少であったが故に早期に完了できたと考えることが出来る。しかしながら七ヶ浜町、多賀城、仙台市等ガレキ片付処理は塩竈市のそのスピードとは格段の差があることは明白である。塩竈市内の協力団体のチームプレーは一早くその実を挙げたことは勿論のことながら、作業の全体量の少ないことがそのスピードの差の主因であると思料する。近隣地域への応援も可能であるものの、組織の枠外に現実には少し疑問を持つものであり、行政間の連携・協力体制の構築を待ちたい。
- ・ 道路の不陸を早急に修復して欲しい（橋梁を含む）。
- ・ 信号の復旧を急いで欲しい
- ・ 岸壁やプラントを早急に修復して欲しい。
- ・ （現在破損したままになっている）当社入口前の信号機の修理、道路の整備補修、害虫駆除等。今回のような大津波警報が発令された時には弊社の前にあるJR東塩釜駅構内に避難（最も近くて、最も安全な）可能となる制度をJRと折衝願いたい。

【飲食業】

- ・ 原発による食材の制限、風評被害、これからの見通しが立たない事。
- ・ 地盤沈下による道路と建物の段差があるので、危険。
- ・ 塩竈をどの様に復興したいと思っているのか、市町及び関係者の考えが何も伝わってこない事。
- ・ 現状に復旧するだけでは、元々衰退をしていた状態にもどすだけになるのではないかと考える。
- ・ 県道との高さを均一にして欲しい。側道（市）はいらない。

【サービス業】

- ・ スピードのある復興政策を望みます。

【その他】

- ・ 被災した事務所への早期な復興支援。当社は被災もまぬがれても、得意先が被災しているため。

- ・ 地盤沈下による諸問題への対応を出来るだけ急ぎお願いしたい。
- ・ 国 県 市と色々な情報伝達の遅さが困っております。又、色々な支援の説明不足で困っています。

自由意見 b) 復興のためのアイデア

b) 塩竈市の復興のためのアイデアをお聞かせください。

【水産加工業】

- ・ 市内事業者が一体となれるしくみ作りから市民全員で小さな事から取り組める PR 活動。
- ・ スポーツを通じて塩竈への人の出入りを盛んに出来る環境（総合スポーツセンターや、福島の J ビレッジ的な）を他の市町村がやる前にやる。同時に雇用も創出していけるのでは？（施設整備係や宿泊施設運営等）
- ・ 魚市場近代化へ改修等漁船誘致への環境整備。とにかく人の出入り向上かなと思います。
- ・ 観光施設や商業施設を整備し外部からの人の流入の拡大をはかり、活力を高めてほしい。
- ・ 新浜町にある加工団地の整備を行い、かまぼこ特区をつくる。またその中に大学の研究機関をもってきて新しい技術開発を行い産業を活性化させる。
- ・ 塩釜の地産地消の P R に力を入れる。
- ・ 津波の被害は他港にくらべ比較的少なかった。とはいえ、トータルな津波現象の検証と公開が将来に向けて、又現在の心理的不安をやわらげると思う。
- ・ 将来、塩釜全体の水産ボリュームが増える様に被災地域から企業誘致する。
- ・ 全市民で震災に負けぬ気力で港町塩釜を創る事。

【製造業】

- ・ 復興（既存産業）と同時に新規雇用を拡大する目的（地域活性化）で海洋構造物を製造出来る産業を考えていきたい。その為にも工場用地等、行政サイドの協力をお願いしたい。
- ・ 既に行なわれているかもしれませんが、次世代を担う若者の意見を徴集してみてもどうでしょうか。「未来予想図」と題して中学生や高校生・大学生の思いに耳を傾けてみる。この地で暮らして行くのに何が必要でどれが現実的に実行性が有るのか、途方もない意見も出てくるかと思いますが、それが「生の声」として若者が考えている事だとすれば一口に無理難題として片付ける事は出来ませんし、それが新しい発想のキッカケに成るかもしれません。また市職員の 20 代、30 代、40 代と世代毎の意見交換会的な物も実施してみてもどうでしょうか。行政の仕事に携わってどう感じどうして行かなければならないのか、日常の業務で体現した事を知ることはこれからの復興の為の行政の仕事に活かす事が出来るのではないかと考えます。まずは市役所が元気の旗頭となって頂をたいし、そこで働く職員一人一人が元気の源の手本に成って頂きたい。その為に基本から今一度見直してみる事も肝要かもしれません。それは“挨拶”を徹底する事と同じと考えます。
- ・ 加工団地内に観光事業的な計画を行う。
- ・ 団地内で製造している商品を団地内に販売センターを作り観光客に直売する。

- ・ 団地内の各工場に見学コースを作ってもらう
- ・ 魚市場に隣接しているので魚市場を含め開発してほしい。
- ・ 加工団地に新しい風を入れてほしい。
- ・ 津波の被害の無かった団地を復興の為の足がかりにしてほしい。
- ・ 震災前から港町 1 丁目地区は高潮の被害がありましたが、東日本大震災により地盤沈下が進み更に被害が拡大し歩行はもとより自転車での通行もままならない状況が続いています。このような状態では観光客の集客、地元産業の発展は望めないと思います。
- ・ 観光客が増え、地元産業が発展すれば雇用が促進され市の財政も必ず潤ってくると思うので、まずは沿岸地域の安心・安全な“まちづくり”に力をそそいでいただきたいです。
- ・ 塩竈市には昔から杜があり、港があり、工業があり他の市町村にはない魅力が沢山あるので、今回の震災でこの大切な歴史を消滅させてしまうのはもったいないです。
- ・ もっと地域の声をくみとって市民みんなが望む夢のある「みなとまち」創りをお願いします。
- ・ 被害地より塩釜に移転を希望した企業があるが成立しない。要因は新浜町が軟弱な土地が大きな原因と思う。
- ・ 今回の震災に対し中央より復興資金および導入を計り 30 年いや 100 年の将来を見通し不沈下の土地を作り他所より水産加工製造所のみでなく業種を問わず製造業者を誘致すべきと思う。
- ・ 市の産業の付加価値向上には観光地としての視点がもっとも大切です。
- ・ 創造をともなう街づくりが重要です。
- ・ 北浜地区は 3 ~ 5 m 地盤を上げて公園にする。
- ・ 水辺の立体的な海からの景観。
- ・ 日々港へ近郊からも国内外からも遊びにくる人々でにぎやかになるすてきな水辺の町にしましょう。
- ・ 市内、港エリア、満潮時浸水は絶対不可です。
- ・ 今回のような津波がきても建物が流失することのないような堤防、防潮堤の二重、三重の防御策。沿岸部の土地の高上げ、土地の買い上げ。海岸線から何mかでの非居住区化、工場地区などを設け、非居住区と居住区に分ける。
- ・ 住居が流失したり、修理が出来ない程損壊した人の為の安くて購入できる復興住宅の建設。
- ・ 小規模、零細企業の創出、設立の支援。
- ・ 若手、個人企業の商業参入の容易なシステムを特に観光業を主眼として。
- ・ 大規模な無料駐車場を有する“道の駅”を塩竈に。
- ・ 津波の被害は他港にくらべ比較的少なかった。とはいえ、トータルな津波現象の検証と公開が将来に向けて、又現在の心理的不安をやわらげると思う。
- ・ 市の産業の中心である水産業及び塩釜神社を中心とした観光業の復興に最重点を置く施策が必要。とりわけ県内で唯一大きな被災を免れた漁港、魚市場、その背後地の活用により県内での競争力を失いつつあった水産業の復活を目指した予算の重点配分が肝要。
- ・ 将来、塩釜全体の水産ボリュームが増える様に被災地域から企業誘致する。

【卸売・小売業】

- ・ 以前より海岸通店や、市場周辺の簡素化がめだっていたので、海岸通りの空き店舗を利用し、人が集まるような、おもしろい活気になるような店作りをするために若い人達の意見を聞き、また貸し出していければと思います。
- ・ 塩釜の平地は埋め立て地と聞いております。市民に市街地の図面で、お示し市民に自己管理して頂いてはどうでしょうか。今回の地震で新しい家（20年～30年）は大きな壊れ方はしていません。技術革新の賜物でしょう。古い家は耐震検査等を厳しくして大きな事故にならない様にしてほしい。何でもだけど“ なっちゃったでは ”では遅い。
- ・ 商店、企業であってもその会社が成立っているのは地場消費なのか、市外消費なのか。規制緩和で力のあるものが有利な感があるか、本来の復興の為には大手だけでなく小さな街の商店（商店街）の役割を考える必要。例えば県知事の考え方は、経済的には生きるかもしれないが、これまでの漁業者としての成立ちまで生かされるのか疑問です。
- ・ 海辺の復旧なくして塩釜市の復興はない。一次産業への支援を積極的に。
- ・ 港・岸壁・埠頭・魚市場・水産加工団地・かまぼこ業界・マリングート・観光船事業最優先で大きな支援金を持ち帰ること。
- ・ 三陸海岸他地区に比較し、被害が少ない為水産業、特に漁船誘致など早めに行い、水産の町として全国に名乗りを上げてもらいたい。石巻、気仙沼に代わって青魚が入る様、冷凍設備、生鮮部など各社誘致して繁栄させて欲しい。
- ・ 復旧ばかり考えているのではなく、塩釜の産業、歴史、文化、伝統などを守り、地域の発展の為に10年後のしっかりとした「まちづくり」を視野に入れ、長期計画委員会を結成し、今後のまちづくりを検討していくべきと考えます。
- ・ 利府から東北本線塩釜駅ガード下に続く道路が（利府、白菊町、玉川1丁目）せますぎて動きがとれませんでした。緊急車両が通りたくても動けなくなってしまいます。この道路は下馬、多賀城に抜ける一本道路です。大至急で拡張すべきです。
- ・ 今回の震災において塩釜からの情報が耳に届きませんでした。全く情報が入っていないと何人もの方から聞いています。議員の方々の動きも一般人には見えませんでした。
- ・ 将来、塩釜全体の水産ボリュームが増える様に被災地域から企業誘致する。
- ・ 全市民で震災に負けぬ気力で港町塩釜を創る事。
- ・ 災害復興支援交付金制度の創立。
- ・ 震災により被災した港湾の早期復旧。
- ・ 災害に強い新たなまちづくりの推進。
- ・ 水産業を取り巻く漁港機能の再建に関する支援。
- ・ 地元事業者の優先発生。
- ・ 観光・関連施設の早期復旧への支援。
- ・ 被災事業者の工場、店舗、事業所等の建物や設備に関する支援。
- ・ 被災地域をはじめとした商工会議所等経済団体に対する支援。
- ・ 被災地における産品、製品の購入促進等の支援。

【運輸業】

- ・ 港内において流失沈没した船舶が他に比べて少なかったこと及び魚市場付近に被害が少なかったことの原因のひとつに代ヶ崎、馬放島、桂島等が波よけになった様ですので、学術的に解明して、津波に強い塩釜港の売り出しを行う。
- ・ 市役所の機能が集中されていない(部署ごとの事務所が分散)防災拠点になる公園、緑地の整備と併せ、市庁舎の新築、集約を進めるべきと思います。また、国の出先機関も分散しており、行政機能全体が他の市町村に比し不便である。

【建設業】

- ・ 復興の会議の際にもっと民間の考えを汲み上げて頂きたい。
- ・ 松島への玄関口としての塩竈にレトロ調のチンチン電車を走らせ、歴史的な奥行きイメージを強化する。
- ・ 神社下の宮町と本町を門前町としての散策、公園、休み場、土産などを集約する。
- ・ 市民の足として、買物に気軽に、魚、野菜等日常生活品をそろえるゾーン化。
- ・ 沿線を拠点造りとして再開発を！親水公園、塩竈駅地区の再開発。
- ・ 復興(既存産業)と同時に新規雇用を拡大する目的(地域活性化)で海洋構造物を製造出来る産業を考えて行きたい。その為にも工場用地等、行政サイドの協力をお願いしたい。

【飲食業】

- ・ 何をするにあたってもの100年先を見つめて考えていきたい。それがまちづくりにつながると思う。
- ・ 先の質問で“困っている事”とありましたが、大勢の人が困っていると思います。その人達の意見を聞いてやる事が復興のアイデアにつながります。
- ・ 小さな問題をひとつずつやれる事から始める事だと思います。私の場合だと川辺の水辺を大事にする事から始めています。今回をチャンスとおもいきりきれいに100年後を見て行動して下さい。私も行動したい。そうすると町が変わります。人の気持ちも明るくなります。いろんなアイデアも浮かんでいきます。
- ・ 市役所のみなさん。頑張りましょう。そしてボランティア精神を忘れないで下さい。

【サービス業】

- ・ 塩竈市庁舎を新しく防災その他の利用に市民が相談、利便に活用できる体制を整える必要があると思います。人口の減少、高齢化。今が機会だと思います。このままでは役所の機能がなされていません。是非検討していただきたいと思います。
- ・ 合併法を復活させて二市三町(四町)の合併を実現する方向に。狭い土地で限界があり発展性が少ない。合併が現実になれば多くの日本、外国の企業誘致できる。また、小さな工場でなく1000人~3000人の就労ができる。工場や企業を3~4ヶ所誘致。若者も集まり貧しくも心豊かな地域が創れる。

- ・ 塩竈の得意な産業を育成発展させる。
- ・ 教育に力を入れる。全国にない教育モデルを作る（教育が良いと優良国民が市に集まる）。
- ・ 市が音頭を取り、市民や全国民に「水産加工債」を発行して強化していく。
- ・ 平等も大変大切なことですが、不公平も尊重し大切にしてほしい。
- ・ 市の産業の付加価値向上には観光地としての視点がもっとも大切です。
- ・ 創造をともなう街づくりが重要です。
- ・ 北浜地区は3～5m地盤を上げて公園にする。
- ・ 水辺の立体的な海からの景観。
- ・ 日々港へ近郊からも国内外からも遊びにくる人々でにぎやかになるすてきな水辺の町にしましょう。
- ・ 市内、港エリア、満潮時浸水は絶対不可です。

【その他】

- ・ 以前より海岸通店や、市場周辺の簡素化がめだっていたので、海岸通りの空き店舗を利用し、人が集まるような、おもしろい活気になるような店作りをするために若い人達の意見を聞き、また貸し出していければと思います。
- ・ すべての課を一つに集める。
- ・ 議員、職員の人件費、人数の削減。
- ・ 収入、支出のバランスを正常に。
- ・ 無駄な施設はなくす支出を考えて下さい。無駄が多すぎる 復興へまわす。